IMAGINE ROTARY

NAGASAKI DEJIMA ROTARY CLUB

2022-23年度国際ロータリー会長　ジェニファーE・ジョーンズ

WEEKLY
NO.1091
6/9 金
発 行

本日のプログラム　6 月9日（金）	次回のプログラム　6 月16日（金）
新会員卓話：山田明子さん「自己紹介」	理事会メンバー退任挨拶

第1097回 例会

今年度 第38回例会　令和5年6月2日(金)
会員数74名(出席免除1名)　欠席24名　出席率67.1％

■欠席者：武藤、海野、田村、福島、光安、前原、鉄川、藤本、藤岡、原、廣高、山﨑、山中、伊藤、山田（明）、牧、今村、熊上、安達、山形、押渕、谷川、小西、西沢

■開会･点鐘：前田会長

■国歌斉唱

■ロータリーソング：「奉仕の理想」

■四つのテスト：大原さん

■会長挨拶：前田会長

みなさんこんにちは。

６月になりました。今年度の最終月でございます。

昨日は長崎の街にとって４年振り、今年踊りを奉納する踊町としては10年振りの小屋入り、打込みが行われました。ちなみに「小屋入り」とは何かと申しますと、その年のくんちの始まりとなるもので、踊町の世話役や出演者が諏訪神社、八坂神社それぞれの神前で清祓を受け、踊り奉納の大役の無事達成を祈願します。そしてこの日6月１日から正式な演し物の稽古に入ります。昔はこの日から小屋を建て、身を清めて稽古に専念したことから、「小屋入り」と言うようになったそうです。

今年の踊り場のさじき券は、人件費や材料費の値上がりを受け、４年前よりも値上げとなるとのこと。諏訪神社は、6月7日(水)午前7時から販売を開始。八坂神社は6月12日(月)、お旅所は7月18日(火)から、それぞれ電話での予約受付、中央公園は、8月1日からネットとコンビニエンスストアでの販売となるそうです。なお、無料で特等席となる長坂の整理券は7/1～7/20の間、はがきでのみの受付です。

先週の例会後、26日(金)から27日(土)にかけて職業奉仕事業として「大人の社会科見学」に行ってまいりました。この事業、74人の大所帯となった我がクラブの職場訪問例会の開催について、担当者から会場選びで苦労しているとの相談があり、長崎みなとロータリークラブさんが同様の事業を行っておられたことから、近県への宿泊をともなった事業としました。全く初めての事業を柿山理事、山中委員長にどうにか仕上げて頂きまし

た。事業名が「大人の社会科見学」、行先が「あんみつ姫」ということで非常に不安でしたけれども、ことのほか良い事業となりました。あんみつ姫さんもコロナ渦のなか、かなり大変だったようですが、それゆえ事業形態をシアター形式に変化させるなどして乗り越えてこられたとのこと。そして当日は大盛況で、お客様の半分以上は女性という状態でした。なお、これまでこの事業に色々と理由付け致しましたが、実はこの原点は10年ほど前まで新役員を対象に行っていた安達さんの会社の雲仙保養所での合宿です。あの合宿が非常に楽しく、まだあまり馴染めていなかった会員とも仲良くなったり、気軽に話ができるようになったと思います。なので、やはり個人的には泊まって飲んで語り合うのが親睦には一番良いのではないかと思っています。

ということで、今月６月のＲＩ特別月間のテーマは「ロータリー親睦活動月間」です。私たちのクラブにとって、親睦活動は非常に重要であり、会員同士の絆を深め、地域社会により良い影響を与えるためにはとても大事な要素であると思います。今月中には新会員フォローアップセミナーや、新会員歓迎会、そしていよいよ賀寿会を控えております。この月間を通じて、会員同士のつながりを強化し、更なる友情を築いてください。それでは本日も楽しい例会としましょう。

よろしくお願いします。

■米山記念奨学生近況報告：ジェフ君

コスタリカは本当に遠い国なので、もしかしたら日本人にあまり知られていないかもしれません。ということで、今日は私の国についてお話したいと思います。飛行機で 23 時間、バスで３時間かけて長崎に着きます。長旅ですね。

コスタリカは中米にあります。北はニカラグア、南はパナマに隣接しています。大西洋と太平洋に面している。コスタリカの言語はスペイン語です。コスタリカは小さな国ですが、たくさんのビーチとたくさんの山があります。コスタリカには火山もあるので、温泉もたくさんありますが、日本の伝統的な温泉とは違います。私のお気に入りの場所のひとつは、チルリポ山です。チリポ山は富士山と同じくらいの高さで、山頂まで１日かかるんです。山頂では、寝てからハイキングをすることができ、まるで別世界のような感覚になります。

コスタリカは人口 500 万人ですが、そのほとんどがセントラルバレーに住んでいます。セントラルバレーは標高が1500mほどあります。そのため､コスタリカの気温は快適です。首都では 25℃前後。海の近くでは 32℃くらいになります。また、コスタリカは雨季と乾季しかありません。一年を通して気温の変化が少ないのです。

コスタリカはコーヒーで有名です。何十年もの間、主要な輸出品でした。バナナ、トロピカルフラワー、チョコレートも重要な輸出品です。しかし、ここ 10 年、主な輸出品目は医療機器となっています。

コスタリカにとって、自然は大切なものです。保護された自然保護区がたくさんあります。エコツーリズムも盛んです。また、エネルギーのほとんどは、水力発電をはじめとするグリーンソースから供給されています。

すべてが良いわけではなく、コスタリカの生活費は本当に高いです。また、過去数年間で、不公平感が増しています。心配ですが、国民のために働いている良い人たちがたくさんいると信じています。

コスタリカでは医療も教育も無料ですが、その理由のひとつに、70 年前に軍隊を廃止したことが挙げられます。コスタリカが軍隊を廃止した理由は、とても興味深いものです。内戦の後に起こったことです。勝利した政党はラテンアメリカの不安定さに目をつけ、その理由のひとつは軍隊を政治的に利用することだと考えたのです。そこで、民主主義によって紛争を解決するために、軍隊を廃止したのです。

コスタリカの人々は平和に慣れました。私は、誰もがその機会を持つべきだと考えています。

■幹事報告：亀川幹事

①理事会報告：

②25周年第4回実行委員会について：6/9例会後開催されますので、副委員長以上の方はご出席ください。

③新旧会長幹事会について：6/8（木）18：45~ヒルトン長崎にて開催されます。今回は当クラブが担当となっております。

■親睦委員会報告　ニコニコ披露：吉村さん

ニコニコ８件　23,000円（累計1,007,000円）

■前田さん：マリア園田中先生、明星園上田先生、浦上養育院山中先生、ようこそおいで下さいました。ここ数年、スポレクは残念ながらWEB開催となっておりますが、コロナも落ち着いてきたので、そろそろ子どもたちの笑顔を直接見ることができるかと楽しみにしております。本日は宜しくお願い致します。

・・

■塚本さん：先日5月28日は長男裕介の27歳の誕生日でした。ちょうど東京に出張でしたので、家内と一緒に東京へ出向いて食事会をしました。大きくなるのは早いなぁとつくづく感じました。

・・

■海田さん：殿村さん、前田会長、昨日の小屋入りでの打込みはお疲れ様でした。お二人の姿に当町内も身が引き締まる思いです。あっ！忘れてた～、光安さんの羽織袴やハッピ姿もカッコ良かったですよ。皆様のくんちでのご活躍を祈念します。

・・

■光冨さん：昨日はくんち小屋入りでした。お諏訪さんから帰ってきた時はびしょ濡れでした。今からはケガすることなく、くんち本番を迎え、無事奉納できればと思います。

・・

■藤さん：6月4日が誕生日のためニコニコします。またその日はむし歯予防デーであるため今度の日曜日は長崎市歯科医師会主催の「はっぴぃスマイルフェスティバル」がベルナード観光通りで開催されます。ぜひお立ち寄り下さい。

・・

■内野さん：6/1が結婚記念日でした。明日そこそこの焼肉でも食べに行こうと思います。

・・

■柿山さん：6月になりました。本年度も最終月です。会社も決算月なんです。だからどうしたんだと突っ込まれそうなんでニコニコします。

・・

■喜々津さん：昨日、中国の福建省で専門学校の教官になっている米山奨学生だった塗伝灯くんから国際電話がありました。彼は昨年末に新型コロナに感染して高熱が出たそうですが、今年の夏に来日する計画を話していて、実現するようです。中国で今流行しているのは普通の風邪だそうです。

・・

卓話：マリア園　田中先生、明星園　上田先生、浦上養育院　山中先生

「児童養護施設の児童の自立への課題」

△マリア園　田中先生

《施設紹介》

マリア園は南山手にあり、客船が入ってくると目の前に見える、長崎でも有数のロケーションを持つ施設です。140年の歴

史があり、常に時代の要請に応えながら養育の営みを続けてきました。今もまさに児童養護の世界の変化の中で、100年以上過ごした園舎を離れ新しいマリア園を建て直しました。新しい建物に移り５年目を迎えています。新しい建物ではリビングやダイニングをそれぞれ持つ別々の家で生活していて、小規模化と言います。子どもたちとの距離感は近くなり、毎日色んな事がありながらも共に日々の生活を営んでいます。

《長崎出島RCに求めること》

子ども達の成長を一緒に見守って欲しいと思っています。伴走してくれる大人は多いほうがいい。スポレクで出会う子ども達はまだ小学生で幼さがありかわいらしいでしょう。そのかわいかったあの子やこの子が中高生になり、お仕事探検隊で再会すると挨拶ができたり背が伸びていたり、子ども達の成長を感じてもらえると思います。社会的養護下の子ども達です。社会的養護とは社会全体で子ども達を育むという考え方です。子ども達の支援は施設だけで完結するわけではありません。色んな方の手を借りながら社会に出ていく準備をします。たくさんの大人がそれに携わり、成長を見つめ、ご縁があれば退所後もどなたかが繋がりを持っていただき、一緒に子ども達の自立を応援していただければと思っています。

△明星園　上田先生

こんちには。明星園からきました、上田と言います。本日はよろしくお願いします。私は明星園に勤めて今年で6　年目になります。現在男の子のユニットを担当しております。

《施設紹介》

明星園は南長崎の磯道町に本園、もうひとつ星の子ホームという分園の2施設で運営をしています。本園には男子、女子ユニットが2ユニットずつ、分園には男子ユニットが2ユニットと女子ユニットが1つあります。明星園は目の前に海、川そして市内の山々で一番の高さを誇る八郎岳と自然豊かな環境にあり、男の子も女の子もとても逞しく過ごしています。子どもたち入所児童32名、総職員数は45名で日々の生活をしています。

《児童養護施設の課題》

明星園では高校生からスマホを持てるようになるのですが、親から金銭的な支援を受けられる児童と、そうでない児童で少なからず格差が生まれてしまう状態にあります。私が現在担当している高校生の男の子は親御さんからの支援が受けられないため、月々の携帯代を自分のお小遣いと児童手当から支払っています。その一方で、支援受けられる児童は携帯のプランもギガ無制限で、全額親が負担してもらえているケースもあります。
このような話は携帯代に限らず、金銭的な支援ができる保護者様とそうでない保護様がいるということで、同じ場所で生活をしている子どもの中でも差が生まれてしまっている状況です。
このような差が生まれないように、保護者からの金銭やものの仕送りを一切禁止している施設もあるとお聞きしました。

《自立にあたっての課題》

私は前年度、高校3年生の児童を担当しておりました。そこで感じた自立に向けての課題がいくつかあります。その児童は今年度から県外の大学に進学することができたのですが、大学進学にあたって奨学金の借り入れの申請を児童退所後も進めていますが、在園している児童との関わりが私のメインの業務主なってしまうためそれと同時に退所児童と連絡をとり進めることが難しく思っております。退所児童のアフターケア、退所後にこまめに連絡を取れる職員の必要性を感じました。

あと、もうひとつ自立にあたっての課題です。
高校3年生を対象とした、ビジネスマナー講座や独り立ちに向けた講話というものも外部の方をお招きして、高校3年を卒業した後に受けさせていただいています。前年度、担当した児童は進学後の手続きなどで受けることができない講座もありましたし、施設内の日々の生活、支援だけでは社会的な経験を積む機会が少ないように感じております。例えば、住民票を取るなどの公的な手続き、手紙や書類の送り方をよく理解しきれていない状態で退所になってしまったというケースも多くあります。
もちろん社会に出てから経験を積んでいく場も多くございますが、私たちとしては施設にいる間に、施設だからできる自立に向けた取り組みもあるのではないかと考えてます。

今年は中学、高校生を対象にしたお仕事探検を出島ロータリー様の方で企画していただいているとお聞きしましたし、小学生のスポーツレクレーションを今年は対面で行えるのではないか、と聞いております。活動を通して子供達が、施設の職員、学校の先生だけでなく、様々な職種、様々な考え方をもつ大人

との触れ合う、関わりで子どもたち自身が社会とはこんなに広いんだ、考え方は一つじゃない、こんな考え方もあるんだ、ということに気づいていってほしいと思いました。色んな人との情緒的な関わりはきっと自立に繋がるのではないかと考えてます。今後も出島ロータリー様のご支援を受けるなかで、子どもたちが社会を知るきっかけになってくれたら良いなと思います。長い目で支援し、児童の自立につながったら良いと思いました。

△浦上養育院　山中先生

《施設紹介》

浦上養育院は1874年に創立され、来年で150周年を迎える歴史ある施設です。本体施設に女子ホームと小規模グループケア（男子）、地域に出た分園型小規模グループケア（男子）があり、計子ども17名、職員24名が在籍しています。本院はカトリックの教えである愛を大事にしており、理念にも「自分を愛するように隣人を愛しなさい」とのカトリックの教えがあります。それを基盤にそれぞれの職員が子ども一人ひとりへの関わりを考え、話し合い、支援にあたっています。また、現在もシスターの先生方が一緒に働いており、子ども達にとっては慣れ親しんだ姿ですが、他の施設から見ると少しだけ珍しい本院の特徴であると思います。

また、創立者の岩永マキは男勝りな女性で、正義感も強く、また困っている人には必ず手を差し伸べるという深い思いやりの持ち主だったようです。私達もその姿に倣って日々子ども達と関わり、院にいる間だけでなく自立後も繋がっていけるような関係を目指しています。

《児童養護施設の自立への課題》

自立への課題は主に2つの視点があると感じています。今までのお話と重なる事も多いですが、これまで見てきた事例や現状をお話したいと思います。まず環境的な課題として、家族関係と金銭面です。施設に入所している子どものうち、卒院後家族からの支援を得られる子どもは、私の経験上ほとんどいなかったように思います。中にはお金の支援を子ども側に求める親もおり、子どもがなかなかその関係を切り離す事が出来ず負担になってしまい、自分の生活を作っていくのが困難になるケースもありました。この事から金銭面の厳しさにも繋がります。今は給付型の奨学金も増え、進学できる子ども達も多くなってきました。しかし、学費や生活費を賄うには1つの奨学金だけではとても難しく、複数の給付型奨学金を申請しますが、選抜が厳しい為、採用までたどり着けない事もあります。進路を決める際は、これらの事を踏まえながら慎重に話し合いますが、最後は子ども自身の決定が一番尊重される為、職員の思いや心配ではどうにもならない場合も多いです。その時に思うのはもう少し多くの子どもに開けた給付型の奨学金制度が充実していたらという事です。夢や目標を持って進学を目指す子ども達にとって大きな手助けになるのではと感じます。

次に、子ども自身の課題としては、金銭感覚、社会経験の乏しさが挙げられると思います。施設は衣食住が当たり前に保障されている事はもちろん、病院受診にもお金がかからず、必要な物も揃えてもらえる為、お金に困る場面はほとんどありません。もちろん在院時からお金の使い方、社会に出て必要な事等は伝えていますが、なかなか現実として受け止められず、身の丈にあった生活を考えられないまま社会に出たり、上手くやりくりができず貯金も使い果たしてしまうケースもあり、自立の難しさを感じています。

今まで特に金銭面での不安をお話してきましたが、もう一つ、どちらにも関係する事として、信頼できる大人に助けを求める力というのも大きな課題の一つだと思います。実際に本院であった事例で、就職時、企業の方からの手厚いサポートを受け、車も住環境も丁寧に整えて頂きましたが、2年目の終わり頃に精神疾患を患い出勤できなくなったケースがありました。その子は、卒院後も繋がっていた本院職員に連絡が出来、院でしばらく療養し入院へと繋がりました。このケースでは、その子自身が信頼できる施設職員にＳＯＳを出せた事ですぐにサポートに入る事が出来ました。しかし、卒院後連絡が途絶えてしまう子どもも多く、その中には何か困っていてもうまく頼れず一人で抱え込んでいる子どもも多いのではと思います。今後の課題としては、施設職員は在院時から頼ることのできる関係性を築いていく事、また外部にも子ども達が助けを求めやすい存在や窓口があると、社会で生きる子ども達へのサポートの幅が広がるのではと感じています。

紹介は人間尊重委員会濵村さん

■閉会・点鐘：前田会長

長崎国際ゴルフ倶楽部
競技日 2023/06/03（土）

長崎出島ロータリークラブ

隠しホール OUT ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ IN ⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱

順位	氏名	OUT	IN	GR	HD	Net	備考
1位	平井 聡	46	49	95	21.6	73.4	
2位	柿山 聡司	45	48	93	19.2	73.8	
3位	亀川 忠信	48	44	92	18.0	74.0	
4位	佐伯 秀人	45	48	93	18.0	75.0	
5位	栗山 壮一	52	45	97	20.4	76.6	
6位	西村 広平	44	46	90	13.2	76.8	
7位	牛島 直樹	51	54	105	27.6	77.4	
8位	平井 健司	46	55	101	21.6	79.4	
9位	塚本 敏	46	52	98	16.8	81.2	

topics

長崎国際ゴルフ倶楽部において
長崎出島RCゴルフ同好会ゴルフコンペを開催されました。

去る６月３日土曜日夏日に近いような雲一つない天気の中、長崎国際ゴルフ倶楽部において長崎出島RCゴルフ同好会ゴルフコンペを開催されました。今回は9名の参加を頂きました。優勝者は某〇山さんから7番アイアンを隠したと疑われた平井聡さんが優勝、2位は柿山さん、3位は亀川さんでした。特に3位の亀川さんはパターが絶好調でワンパットを連発、幹事のストレスもなく完全に次年度モードでした。参加いただいた皆様、大変お疲れ様でした。なお、次回開催は7月15日土曜日長崎国際にて塚本会長杯を開催いたします。
可能であれば懇親会付きの予定ですので皆様奮ってご参加ください。

Nagasaki Dejima Japan

ＲＩ加盟承認
１９９８年９月３０日

■ 国際ロータリー第２７４０地区ガバナー　上村　春甫
■ 国際ロータリー第２７４０地区第１０グループガバナー補佐　鶴田　修
■ 長崎出島ロータリークラブ　会長：前田　利孝　幹事：亀川　忠信

■ 例会日：金曜日（１２：３０）
■ 例会場：ホテルニュー長崎　Tel.０９５-８２６-８０００
■ 事務局：〒８５０-０８６２　長崎市出島町１２-２９　夢進ビル２階
Tel.０９５-８２２−９６３２　Fax.０９５−８２６−４７５６
■ 創　立：１９９８.９.４　■ ＲＩ加盟認証：１９９８.９.３０

会報委員会：阿字野 仁、山口 孝司、池田 久美子、廣高 信彦、堤 祐敬、有馬 裕幸
dejimaro@lime.ocn.ne.jp　http://dejimaro.jp/

dejimaro.jp